

令和4年度日本教育大学協会研究集会報告

令和4年度研究集会実行委員長

北海道教育大学札幌校キャンパス長 田口 哲

開催日 令和4年10月1日(土)

当番大学 北海道教育大学

開催方法 Web開催

はじめに

令和4年度日本教育大学協会研究集会は、北海道教育大学が当番大学として開催いたしましたが、新型コロナウイルスの感染状況により先を見通すことが難しいことから、対面での開催はせず、10月1日(土)にオンライン開催といたしました。当日はZoomウェビナーを使用して、ほぼリアルタイムで実施しましたが、例年全体会で行われていたパネルディスカッションおよび情報交換会は昨年度に引き続き、残念ながら中止といたしました。

分科会については、Web上でのご発表と質疑応答を行い、各分科会ともに活発な議論となりました。非対面での開催となったにも関わらず、分科会及びポスターセッションを合わせ全国から87件の発表の申し込みがあり、従来と変わらず充実した会となりました。研究集会の概要は、以下のとおりです。

I 全体会(10:30~11:30)

1 開会挨拶

開会にあたり、日本教育大学協会長の國分充氏より、今年度もコロナの勢いが衰えない中、学校現場ではGIGAスクール化が進み、コロナの経験を生かして学びの姿が大きく変化していることに触れられ、今回の研究集会でも各大学や学校での教育研究活動における新たな知見が共有され、今後の活動へと繋がることへの期待が述べられました。これに続き、当番大学を代表して、蛇穴治夫北海道教育大学長より、中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の実現に向けて、各地域で授業観・学習観の転換が求められている中、教員養成教育も大きな転換期に入っていることに触れられ、その中で開催される本研究集会にて、各分科会のテーマに沿った様々な研究発表がなされ、その成果を共有することで、日本の教員養成の質向上と高度化を牽引していくことへの期待と、教員養成系大学・学部・学校の益々の貢献に対する期待が述べられました。

さらに、本研究集会実行委員長の田口哲と、来年度の当番大学である山形大学地域教育文化学部長の中西正樹氏より挨拶がありました。

2 招待講演

招待講演では、文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室長の小畑康生氏による『令和の日本型学校教育』を担う教師の在り方と教員養成』と題した講演が行われました。

内容として、まずは「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律の概要」をもとにした新たな研修の仕組みにおいて、教育委員会と校長等管理職の役割とともに「令和の日本型学校教育」

を担う新たな教師の学びの姿を示されました。そして、その新たな学び実現のために、大学や教職大学院で行われている教育実践が紹介され、今までの教員免許更新講習等での知見の継承と発展に向けて、今後も積極的な取り組みが期待されました。また、今後の教員の質向上のためには、大学と教育委員会の連携がますます重要となり、養成・採用・研修のシームレスな進行を実施することや、現職教員においては「新たな教師の学びの姿」として一人一人の教師が自らの専門職性を高めている営みであると自覚しながら、誇りをもって主体的に研修に打ち込む必要があることと、そのための研修履歴の活用や関連する教職員支援機構の取組について説明されました。さらに、中央教育審議会答申『『令和の日本型学校教育』を担う教師の在り方について』で示された、今後の改革の方向性を踏まえて実施した5つの改革、1. 「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師像と教師に求められる資質能力、2. 多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成、3. 教員免許の在り方、4. 教員養成大学・学部、教職大学院の在り方、5. 教師を支える環境整備、について詳しいご説明がありました。おわりに、「教師不足への対応」については、教員数に関わる様々なデータを示されながら、教員不足は危機的な状況にあり、特に教員養成大学の教員就職率の向上が課題となっているため、各大学ともに積極的に取り組む必要性が示されました。また、そのために教育委員会とはさらなる連携を図り、情報の共有と教員を志望する学生や教員を支える体制の構築が必要であることについても述べられました。

II 分科会(13:00~16:20)

分科会は、Zoom会議システムを用いて、オンラインによる口頭発表が行われました。発表者が作成したスライドを画面共有で掲示しながら15分間の発表を行った後、5分間の質疑応答時間も設け、活発な議論が展開されました。分科会は、「学部段階での教員養成」「大学院段階での教員養成」「大学・学部と附属学校園の連携・協働」「へき地・小規模校教育」「『令和の日本型学校教育』の構築に向けた取組」「自由課題」という6つのテーマ別に分けました。さらに、そのうち演題数の多い5分科会についてはA・Bの2会場に分け、総計11会場をWeb上に設けました。発表件数は73件で、各会場ともに充実した研究発表と質疑・応答が行われました。

III ポスターセッション(14:20~15:20)

様々なテーマによる全14件の発表がありました。ポスターは学会HP上に掲載して、発表題目毎に閲覧できるように設定しました。さらに、発表者の在席責任時間を分科会発表の休憩時間に位置付け、ブレイクアウトルームで実施しました。そのため、参加者全員がポスターセッション発表者にその場で質問することを可能としました。

おわりに

このたびは、オンラインでの開催にもかかわらず、全国から287名に上る多くの皆様にご参加いただき、当番大学の北海道教育大学並びに北海道教育大学札幌校研究集会実行委員一同、心より御礼申し上げます。会の運営等につきましては、令和4年1月から準備を開始し、スタッフ一同万全を期して臨みましたが、至らぬ点多々あったことと存じます。それでも無事に研究集会を開催できたのは、ご参加いただいた皆様のご協力によるものです。アンケートでも、数多くのお褒めの言葉をいただき、実行委員一同、大変嬉しく思っております。次年度の研修集会は、山形大学地域教育文化学部で開かれます。次年度の開催方法として、アンケートでは、対面開催、今年度と同様にオンライン(Web)開催、ハイフレックス(ハイ

ブリット)開催と、様々な意見が寄せられていました。新型コロナウイルスの影響はしばらく続くとは思いますが、今後も、教員養成に関する教育研究の質的向上と発展を図る機会として、研究集会がますます有意義なものになっていくことを期待いたします。ありがとうございました。

令和4年度 日本教育大学協会研究集会 スケジュール

(当番大学 北海道教育大学)

【日時】 令和4年10月1日(土) 研究集会 10:30～16:20

【開催場所】 北海道教育大学 (Web開催)

【開催概要】

I 全体スケジュール

令和4年10月1日(土)

| 10:00 | 10:30 | 11:30 | 13:00 | 14:20 | 15:20 | 16:20 |
|-------|---|----------|---------------|------------|---------------|-------|
| 受付 | 全体会 (開会挨拶 10:30～10:45) (招待講演 10:45～11:30) | 昼食 休憩 | 分科会 (6分科会) | 休憩 | 分科会 (6分科会) | |
| | | | | ポスターセッション※ | | |

※ポスター発表者の在籍責任時間は14:20～15:20

II 全体会 (招待講演) [10:30～11:30]

1. 開会挨拶 (10:30～10:45)

- (1) 日本教育大学協会 会長 國分 充 東京学芸大学長 挨拶
- (2) 日本教育大学協会研究集会 当番大学 蛇穴 治夫 北海道教育大学長 挨拶
- (3) 日本教育大学協会研究集会 実行委員長 田口 哲 北海道教育大学札幌校キャンパス長 挨拶
- (4) 日本教育大学協会研究集会 令和5年度当番大学 中西 正樹 山形大学地域教育文化学部長 挨拶

2. 招待講演 (10:45～11:30)

テーマ: 「『令和の日本型学校教育』を担う教師の在り方と教員養成」

講師: 文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室

室長 小畑 康生 氏

3. 連絡事項 (11:30 終了予定)

III 分科会 (研究発表) [13:00～16:20]

- (1) 第1分科会「学部段階での教員養成」
- (2) 第2分科会「大学院段階での教員養成」
- (3) 第3分科会「大学・学部と附属学校園の連携・協働」
- (4) 第4分科会「へき地・小規模校教育」
- (5) 第5分科会「『令和の日本型学校教育』の構築に向けた取組」
- (6) 第6分科会「自由課題」

IV ポスターセッション [11:30～15:20]

テーマ: 「自由課題」

【事務局】 令和4年度日本教育大学協会研究集会実行委員会

〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号 TEL: 011-778-0302

国立大学法人北海道教育大学事務局 総務企画部札幌校室 教大協研究集会担当